

Nhan hoi Thong minh Khoe manh

やさしく

かしこく

たくましく

No 9

ニャンハオ

トゥオンミン

ホエエマイン

12月号

ハノイ日本祭り2011

11月6日、本校グラウンドでハノイ在住の日本人・子どもたちが楽しみにしてきた「日本祭り」が開催されました。ハノイ日本人学校の子どもたちは4年生以上が「よさこい」で出場し、そのほかにステージパフォーマンスにも参加していました。日本のお祭りのようにソーセージや焼きそばなどの食べ物屋さんや夜店が並び、ゲームに挑戦して景品をもらい、盆踊りに参加して子どもたちはみんなニコニコ顔でとても喜んでいました。



お祭りを計画・実行するハノイ商工会の実行委員会の皆さんは当日までに何回も本校を訪れ、グラウンドを測量したり材料を搬入したりして準備を進めてきました。会場準備は、なんと2日前の金曜日の夕方から始まり本番を迎えたのですが、お祭り終了後の後片付けは夜通し行われ、子どもが登校する次の日の朝ようやく終わったのでした。担当となった皆様、ありがとうございました。

〇皿回し、コマ回し

16日、徳島県日和佐町ほたる村で活動しているカップのげんさんこと山内満豊さんが本校を訪れ、1・2年生に皿回しやコマ回しの妙技を見せてくれました。大きなコマを回したり、子どもの持っている棒の先でお皿が回ったりしたときは



12月生活目標「じっくり自分を見つめよう」

大きな歓声がわきました。げんさんが作った竹トンボは体育館の天井まで届くほど高く飛びました。げんさんは豊かな自然のある田舎で昔から伝わる遊びを子どもたちに伝えながら暮らし、全国をボランティアで訪問しているそうです。今回はほかの仲間と来越し、わざわざ本校で実演してくださいました。



〇人間は、人を助けるようにできている

ベトナムの赤ひげ先生 服部先生講演会

『1万人以上のベトナムの人々を無報酬で失明から救ってきたドクターからのメッセージ。「幸福な仕事」ってなんだろう。』(本の帯封より)

10月19日は低学年、11月16日は高学年・中学生と2日間にわたって服部先生に講演をしていただきました。先生の少年時代、父・母、ベトナムでの治療の困難さ、生き方・考え方などの話は子どもたちにどのように届いたのでしょうか。



「お金はそんなに稼げなくとも、幸せはいっぱい持っています。」という先生の言葉は、中学生の子どもたちにはどのように響いたのでしょうか。講演は短い時間でしたので子どもたちに話したいことはまだまだ沢山あったのだと思います。でもきっと先生の本当の苦労は、大人になって自分が実際にやってみないと分からないのかもしれない。

〇12月の主な行事予定

- 2日(金) 全校朝会
- 6日(火) スクールバス委員会
- 8日(木) 読み聞かせ
- 10・11日(土・日) テニス教室
- 13日(火) PTA代表委員会
- 13~16日(火~金) 個人面談
- 16日(金) お楽しみ集会 学校理事会
- 19日(月) 大なわ遊び大会
- 22日(木) 大掃除
- 23日(金) 2学期終業式 ※ランチ集金(16日金曜:19日月曜:21日水曜)



(中学生とさくら幼稚園の交流)